



## 覚えて再生する学び から 考えて表現する学び へ

右の記事（平成29年12月5日：西日本新聞）は、昨年12月に出版された大学新入試試行問題についてのものです。現在の高校の学習スタイルでは対応できないであろうことが話題になりました。現中1生の大学入試から完全実施となり、現中2・3生は大学入試改革の移行期間に大学受験を迎えます。

下の問題は、先日4月17日（火）に行われた、全国学力・学習状況調査（以下全国学テという。）の一部です。県立高校の問題傾向も全国学テに準じてきていますので、現在の中学生は、高校から大学まで読み取り、考える力が入試で多く問われることとなります。

### 受験に「激変」の波

#### 大学新入試 試行調査

国語や数学で新たに記述式問題が加わる「大学入学共通テスト」。現行のセンター試験に代わる新テストの試行調査に参加した高校の教諭からは「情報量がかなり増えた」と戸惑いを見せた。具体像が初めて示され、進学関係者は「劇的な変化。対策の有無でかなり得点差が広がる」と話す。【1面参照】

従来の学習では対応しきれない

このような学びが求められているのは、携帯・スマホだけでなく、自動運転やロボットの普及で、今後介護や運搬など多くの仕事が機械化されているという時代背景が要因となっています。日本のような経済先進国では現在の仕事の約7割がなくなると予想されており、そのような中で生きていくには、適切な「アイデア」「知恵」が必要となると考えられています。



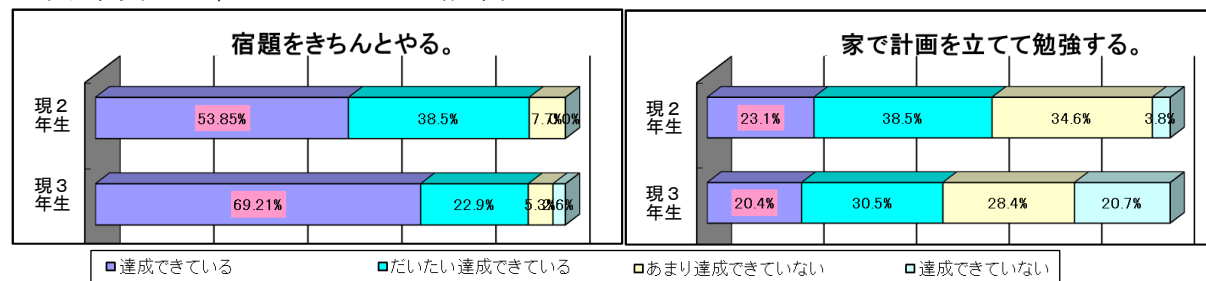
## 考えて表現する学びは、基礎的なことが定着していることが前提です

立花中学校では、進路における大きな節目である入試等に対応できるように、考えたり、判断したり、表現したりする力をつけていきます。しかし、例えば漢字、単語、国名、草花のしくみ、計算など基礎的な力が定着していなければ、ない知恵をどんなに絞って考えても、つけるべき力は身につけません。土台がしっかりしないとどんな見栄えのいい建物も崩壊します。現実的に社会で生きる力を身につけるには、基礎的なことを地道にやり続けることがベースになればいけません。



## 家庭学習の充実を！

立花中学校では、宿題の点検をし、やるべきことができていない生徒は終わらせるまで指導をしています。しかし、本来宿題は家庭で終わらせておくべきものです。求められている学力をつけるために少なくとも、以下のことをご確認ください。  
○ 出された宿題をきちんとやっているか。  
○ わからないところ、間違っているところがどこかわかっているか。  
家庭学習を自分で計画的にできる生徒は、これからの社会でも自分で考え、行動できる人物です。そのためにも家庭学習の充実を！  
〔昨年度の生徒アンケートの結果〕



人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。

南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。ここまでで何か質問はありますか。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。

南さん 大野さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

### ロボットに期待すること

① 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット	動物型のロボット
---------	----------

② ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
  - ・ 簡単な日常会話をする。
  - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
  - ・ 一人一人の顔を覚える。
  - ・ 接する相手に合わせて動く。

③ これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもいい」と回答。（総務省ウェブサイトによる。）

② 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した「資料」です。表の直前の場面と、それに続く「発表・質問の場面の部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（発表の直前の場面）の中は、頭の中で考えていることを表します。（資料）

問題（実際の問題は縦書きですが紙面の都合上横書きにしています）  
南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すように一つ書きなさい。